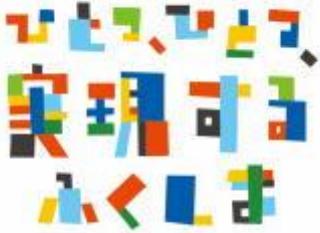


つつが虫病の患者発生届出に伴う注意喚起



令和5年11月8日(水)

担当：福島県保健福祉部

感染症対策課

副課長 橋本 隆子 024-521-7238 内線 3074

秋季に入り1例目のつつが虫病の報告がありましたのでお知らせします。

これからの季節、山林、原野、農耕地等に入る機会が多くなり特に注意が必要です。ツツガムシに刺されないための予防を行ってください。

本県は全国的にも、つつが虫病の多発地域で例年20件程度の報告があり、春季(3~6月)と秋季(9~11月)にピークがあります。

記

届出地域	年代	性別	現状
県中保健所管内の医療機関	60代	男性	軽快

【参考】

1 つつが虫病とは

病原微生物を保有するツツガムシ(ダニの一種)に刺された後、1~2週間後に発症する感染症です。(病原微生物を保有するツツガムシは全体の0.1~1%程度と考えられています。)ヒトからヒトへは感染しません。

ツツガムシは、肉眼ではほとんど見えないほど非常に小さいので、衣類の隙間から入り込むことがあります。また刺された時の痛みもほとんどないと言われています。

2 症状

主な症状として、「発熱」、「発疹」、「刺し口(刺された部位がカサブタに変化)」、「頭痛」、「倦怠感」、「肝機能障害」などがあります。

治療には適切な抗菌薬の投与が必要ですので、症状が現れたら出来るだけ早く医療機関(内科、皮膚科など)を受診しましょう。

3 予防方法

(1) 山林、原野、農耕地等に入る時には、長袖・長ズボン・長靴等を着用するなど、肌の露出をできるだけ少なくしましょう。

(2) 効果が認められる虫よけスプレー(対象に「ツツガムシ」が記載されている製品)もあります。持続時間が限られるため、小まめにスプレーしましょう

(3) 野外作業後は速やかに入浴、着替えをし、皮膚に付着したツツガムシを洗い落としましょう。

4 過去の県内の発生状況

令和5年11月5日時点

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R5	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	—	—	6
R4	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	16	4	25
R3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	11	2	17
R2	0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	4	3	13